



わかやま

No.38

和歌山県精神保健福祉センターだより 2009年2月

「和歌山障害者職業センターの概要」

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

和歌山障害者職業センター所長 鈴木 多津男

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 和歌山障害者職業センター（以下「職業センター」と言います。）は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づいて、障害のある方や障害のある方を雇用する事業主の方などに対して、公共職業安定所（ハローワーク）などの関係機関との密接な連携のもとに職業リハビリテーションサービスを提供しています。

今日は、職業センターの業務内容について紹介いたします。

まず、障害者の方に対するサービスですが、当職業センターでは身体障害者、知的障害者、最近増加傾向にある精神障害や発達障害、難病・高次脳機能障害を有する方々に対して、就職や職場適応に向けて医療・福祉機関、障害者就業・生活支援センター等関係機関との連携を図りつつ、きめ細かな支援業務を展開しております。

近年では、うつ病などにより休職中の方に対する職場復帰のためのウォーミングアップを行う職場復帰支援も実施しており、メンタルヘルス分野における取組みも開始しました。

障害者自立支援法の影響もあり、県内の福祉機関等でも積極的に就労支援に取り組む施設が増えてきています。当職業センターではそのような状況を踏まえ、地域の関係機関に対して、支援技法やノウハウに関する情報提供なども行っております。特に最近の傾向としては、発達障害や高次脳機能障害等を有する方々への支援に関するニーズの高まりが見られています。

これらのニーズに対して、広く情報発信するために、「地域職業支援基礎講座」など、年間における主要事業として企画し開催をしております。開催に当たり、関係諸機関より毎回職員の参加についてご配慮賜っておりますことに感謝申し上げます。

県内の障害者雇用基盤を整備するためには、事業所への支援も欠かせません。ハローワークの協力を得て、障害者雇用率達成に向けた訪問指導に当職業センターのカウンセラーが同行し、障害者の受け入れ、雇用管理に関する助言・情報提供等の支援を行っております。他にも、企業の生の声を聞かせていただく「事業主支援ワークショップ」の随時開催など、地域における職業リハビリテーションの中核機関として事業運営を行っております。

相談件数や支援実績が増加傾向にあるなかで、職員一同、今後においても頑張ってお参る所存ですので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

和歌山センター所在地

〒640-8323 和歌山市太田130番地の3

TEL 073(472)3233 / FAX 073(474)3069

閑静な住宅街に立地しております。付近には県立向陽中・高校・赤山産婦人科医院
和歌山県警太田駐在所等が所在しております。JR和歌山駅東口より徒歩10分。
ご利用に当たっては、あらかじめ電話・ファックス等による連絡を願っております。

もくじ

- P 1 和歌山障害者職業センターの概要
- P 2 / 3 わかやまこころのフェスティバル2008 /
精神障害者ソフトバレーボール大会
- P 4 高次脳機能障害って知ってますか
- P 5 和歌山メンタルヘルスニュース
- P 6 は一とふるネットワーク「医療法人両茂会岩崎病院 奥 茂夫さん」
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/>

わかやまこころのフェスティバル2008を開催しました

県民の心の健康の保持・増進と、こころの病を持つ人に対する正しい理解を広めることを目的として「わかやまこころのフェスティバル2008」を開催しました。(ふれあい人権フェスタ2008と共催)
2日間にわたり、精神保健福祉関係団体によるブースも出店され、多くの方のご参加により盛況でした。

と き 平成20年11月15日(土) 10:00~17:00
16日(日) 10:00~16:00

開催場所 和歌山ビッグホエール



ステージイベント



当日舞台で発表してくださった出演メンバーの皆さんの気持ちです。緊張のなかにも楽しさが伝わってきます。

◆ オープニングコンサート「ハンドベル演奏」

出演：医療法人旭会和歌浦病院の皆さん

9名の皆さんが、「ふるさと」「赤とんぼ」を披露してくださいました。

美しいハンドベルの音色でこころが癒される演奏でした。

- ☆「今からなるべく上手にハンドベルします」
- ☆「今までの練習よりももっとがんばります」
- ☆「練習と同じように頑張ります」
- ☆「皆さんに楽しんでもらいたい」
- ☆「みなさんと一生懸命がんばりたいです」
- ☆「おもいきり振って頑張ろうと思います」
- ☆「舞台に立つたらみんなに聞こえるようにしっかり頑張ります」
- ☆「今年はハンドベルで参加させてもらってありがとうございます。
月日のわだかまりも、何事もなかったように思い出を創りにきました、感謝しています。ありがとう。」

出演までの経緯と出演前後の舞台裏の様子は、和歌浦病院ホームページに詳しく、楽しく綴られています。是非、そちらもご覧ください。

◆ トーク&コンサート

「ゴスペルソングに救われて ～ 苦しいときこそ夢と希望と音楽を ～ 」

出演：市岡裕子氏

演奏：田中券吉氏、松本理恵子氏



吉本新喜劇座長として人気を博した故・岡八朗の長女として、子供時代から、母親がうつ病により自殺した16歳の頃、父のアルコール依存症と病氣、弟の死を経験する波乱の半生と、その中で出会った本場のゴスペルについて、熱く語り、歌ってくださいました。

父の芸能生活45周年記念リサイタルで共演するに至るまでのお話と、人の役に立ちたいという温かい人柄に勇気づけられ、大勢の方が立ち止まって聞き入る感動のステージでした。

◆「こころがほっとするメッセージ」入賞者表彰式

(和歌山県精神保健福祉協会と共催)



趣 旨：普段の生活の中で、こころがほっとするメッセージを5・7・5の17文字につづってもらい、こころの健康を見つめ直す機会を提供する

主 催：和歌山県 / 和歌山県精神保健福祉協会

応募状況：平成20年8月1日から9月24日まで募集

応募数 1,088点

10月31日に審査委員による審査を行い、次の作品が入賞作品に決定、
「こころのフェスティバル2008」で表彰式を行いました。

「こころがほっとするメッセージ」入賞作品

バイクの音 げんかんあけると おとんの笑顔
うれしいと どきどきするよ このこころ
竹馬で はじめて9歩 歩けたよ
弟が けがした私に だいじょうぶ
雨の日に ゆっくり動く かたつむり
まかせとけ 僕がいるから 大丈夫
妻は留守 しょう油探して 十五分
無理すんな たまには空を 見上げてみ

橋本市	小学生
紀の川市	小学生
岩出市	小学生
有田川町	小学生
海南市	中学生
印南町	中学生
海南市	成人
紀の川市	成人



精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会 激闘の結果発表！

平成20年11月28日和歌山ビッグホエールにて、今年度も、参加9チーム、選手・役員105名により熱戦が繰りひろげられました。

決勝戦では、ブラックハーツ 対 DREAM NOAPS(ドリームノープス)が対戦し、大接戦の末、ブラックハーツが昨年優勝チームのDREAM NOAPSを下し、優勝しました。

参加チーム

- あるべじお (あるべじお)
Day ♥ Dro (和歌山市保健所)
4位 準優勝 GO! GO! さくら (地域活動支援センター櫻)
DREAM NOAPS (あすなろ共同作業所・ピア下津共同作業所・野上厚生総合病院デイケア合同チーム)
優勝 イエローホークス (県立こころの医療センターデイケアAチーム)
ブラックハーツ (県立こころの医療センターデイケアBチーム)
ひだかファイターズ(ワークステーションひだか)
3位 紀南ベンケイズ (紀南こころの医療センター)
やおきの風 (やおき福祉会)

ブラック ハーツ	11-15	DREAM NOAPS
	15-10	
	15-13	



高次脳機能障害って知ってますか？

高次脳機能障害相談窓口を設置しました。
お電話お待ちしております。

外見上わかりにくい

●高次脳機能障害とは・・・●

- ・何度も同じことを話したり、質問したりする。
- ・日時、場所、人の名前が覚えられない。
- ・出来事の記憶が前後する。

記憶障害

- ・落ち着きがない。
- ・気が散りやすく、集中力が持続しない。
- ・二つ以上のことを同時にできない。

注意障害

- ・計画的な行動を実施することができない。
- ・作業手順が悪くなる。

遂行機能障害

- ・気持ちが沈みこみ、やる気がでない。
- ・急に怒ったり、興奮しやすくなる。
- ・周囲の状況に合わせるのが難しくなる。

社会的行動障害

高次脳機能障害を 引き起こす主な疾患

外傷性脳損傷

(交通事故などで頭に強い衝撃が加わり、

脳が傷ついた状態)

脳挫傷・硬膜外血腫・硬膜下血腫
・びまん性軸索損傷

脳血管障害

脳出血・くも膜下出血・脳梗塞

低酸素脳症、脳炎、脳腫瘍

など



相談窓口 では…

- ・高次脳機能障害に関する疑問・質問
- ・医療に関する相談
- ・福祉サービスに関する相談
- ・就労に関する相談
- ・各障害者手帳取得に関する相談
- ・社会保障に関する相談

★上記のような相談にお答えします。

・～高次脳機能障害支援 普及事業では～・

研修

医療・保健・福祉関係者などを対象と
した高次脳機能障害に関する各種研修
を実施します。

普及啓発

高次脳機能障害について広く
県民のみなさまに理解してい
ただけるよう広報活動を実施
します。

地域支援 ネットワークの構築

市町村、保健所、事業所
などと連携し、支援を実
施します。

●ご相談はこちら●

相談専用電話

073-441-7070

FAX

073-446-0036

電話相談時間

(祝日、年末年始は除きます)

月・水曜日：10：00～16：00

金曜日：10：00～18：00

相談窓口

和歌山県子ども・障害者
相談センター 障害者支援課
(高次脳機能障害支援普及事業拠点機関)

住所：☎ 641-0014

和歌山市毛見1437番地の218

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

○ 精神保健福祉専門研修

11月26日(水)、27日(木)に、昨年度の専門研修で好評であった横浜カウンセリングオフィスHRI所長 水澤 都加佐氏に依頼し、「家族をどう援助するか」と題してビッグ愛にて講義頂きました。各日40名、37名の受講者からは、面接のスキルを向上するための相談方法や援助方法を学ぶことができ、今後もこのような研修を受講したいなど、好評でした。

○ 自殺対策研修

今年度は自殺予防の3段階であるプリベンション、インターベンション、ポストベンションの研修をそれぞれ、2月18日(水) 11月12日(水)、12月12日(金)にビッグ愛にて開催しました。2/18は関西国際大学人間科学部教授 渡邊直樹氏による「地域における自殺予防活動」で受講者37名、11/12は大阪学院大学国際学部准教授 安田一之氏による「自殺を考える」で受講者39名、12/12は東京福祉大学教授 鈴木 康明氏による「自死遺族ケアの実際：死別の悲しみへの援助」で受講者34名でした。

○ 自死遺族のための講演会

2月21日(土)に自死遺族を対象にした講演会をビッグ愛にて開催しました。内容は高野山大学文学部スピリチュアルケア学科非常勤講師 森崎雅好氏による講演「悲しみからの回復のために」、自死遺族からのメッセージ「家族のおもい」で21名の参加がありました。参加者から同様の講演会の開催や分かち合いの会の希望がありました。

○ ひきこもり一般向け講演会

1月18日(日)にBig・Uにて開催しました。講演内容は、新潟県の医療法人佐潟荘副院長 中垣内正和氏による「ひきこもりのあなたへ - 明日への回復10ステップ -」と、厚生労働省高倉恵子氏による「厚生労働省におけるひきこもり対策」についてでした。参加者は111名で、講演会後の意見として、「ひきこもりについて詳しく知ることができた」「国として、ひきこもりも含めた様々な施策・事業が行われていることがわかった」等がありました。

○ こころの健康講座

第1回 12月7日(日)、関西国際大学人間学部教授 渡邊 直樹氏による「気持ちを伝えあうことの大切さ」の講演会をビッグ愛にて開催し、26名の参加者がありました。「気持ちを伝えることの大切さ。自分自身もないがしろにしていました。今後は一つ一つの言葉、伝え方を大切にしていきたい。」などの感想がありました。

第2回 3月9日(月)、和歌山県立医科大学医学部准教授 鶴飼 聡氏による「うつ病を理解し、こころの健康を保つ」の講演会をビッグ愛にて開催し、132名の参加者がありました。「治療法の概略を丁寧に説明して頂いた。」「とてもわかりやすい内容で勉強になりました。」など好評でした。同じ内容で田辺地域で平成21年5月に開催予定です。

○ ひきこもり従事者研修

1月19日(月)に、ビッグ愛にて開催しました。講演内容は、新潟県の医療法人佐潟荘副院長 中垣内正和氏による「ひきこもりの精神医学的支援」と、徳島大学総合科学部 准教授 境泉洋氏による「ひきこもり当事者・家族の心理学的理解と地域援助」についてでした。参加者は37名で、研修会後の意見として、「ひきこもりの症例をもとに当事者を取り巻く現状と対応方法を詳しく学ぶ機会となった」等がありました。

○ こころのレスキュー隊隊員実践研修

2月13日(金)にビッグ愛にて行いました。山口県CRTよりトレーナーを招聘し、隊員に対して、こころのレスキュー隊の補助業務に関する講義と演習を行いました。参加者は隊員19名でした。

○ こころのレスキュー隊実践研修会

2月28日(土)ビッグ愛で「図上演習 体験・CRT」を実施しました。教育委員会職員、教職員、スクールカウンセラー、医療機関職員、保健所職員等の方が28名参加されました。研修内容は、CRTが3日間どのように活動するのか知って頂くために、参加者が隊長、副長、補助業務主任などの役を持ち、シナリオに沿って実際の動きや会話のやりとりなどを体験して頂きました。講義ではつかみにくい、時間軸での流れとその緊迫を味わって頂きました。



精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。
今回は、岩崎病院で、精神保健福祉士をされている奥 茂夫さんです。



はーとふるネットワーク

ー 岩崎病院に勤務されて何年になりますか？

昭和53年4月からの勤務ですので、今年の4月で31年となります。

ー 精神保健福祉士になられたきっかけは？

入院中だけではなく、退院後も精神障害者の抱える、生活問題や社会問題の相談援助、社会参加に向けての支援活動を業務とする所に魅力を感じました。

ー この仕事をしていて良かったと思う時はどんな時ですか？

支援活動の中、笑顔を見せてもらう事です。

ー 仕事で苦労する点はどのようなことですか？

苦労というものではありませんが、まだまだ経験ありませんので、関係機関の方々にご迷惑をかけている事が心苦しく思います。

ー 岩崎病院のPRを一言お願いします。

山、川、田圃と自然に囲まれた環境の中、OT・ST等では外に出て活動する事も多く、四季を体で感じられます。医師は5名でそれぞれに特色ある診療で、とても信頼でき、また気さくで話しやすいです。

ー 休日はどのように過ごされていますか？

50才を迎える年齢となり、プレイする事は少なくなりましたが、夏場はゴルフ・テニス。冬場はスキーも少し。最近はランニングも始め、先日、口熊野マラソン（ハーフの部）に出場しました。

ー 今後の抱負を教えてください。

担当医の意見・指導を受けるが、PSWとして独自の専門的な視点で判断し、それによる支援活動ができる様になりたいと考えています。

ー 奥さんから、次の方のご紹介をお願いします。

社会福祉法人やおき福祉会の若きホープ、垣本哲志さんです。

精神科クリニック開院情報

名 称	小西メンタルクリニック
院 長	小西信明（精神保健指定医）
所在地	〒640-8403 和歌山市北島453 コンプラベルデⅡ （ガーデンパーク和歌山東口）
TEL	073-455-6191
開院日	平成20年11月11日
備 考	うつ外来、ストレス外来、もの忘れ外来、不眠 / いびき外来、個人・集団カウンセリング、臨床心理士による心理療法も行っています

研修等のお知らせ

こころの健康講座

日 時：平成21年5月25日（月）
場 所：田辺地域職業訓練センター
内 容：うつ病を理解し、こころの健康を保つ
講 師：和歌山県立医科大学医学部
神経精神医学教室准教授 鶴飼 聡 氏
（申込み・お問い合わせは当センターまで）

お詫び

第37号に掲載の、「第56回精神保健福祉全国大会において精神保健福祉の推進に貢献された皆様の表彰」記事に掲載もれがありました。
謹んでおわび申し上げ、あらためてご紹介させていただきます。

社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰 受賞
磯野 十次 氏 （医療法人郷の会ソーシャルワーカー）

編集後記

以前は、3月になっても一度は雪のちらつく震えるような寒い日がありました。その後いよいよ暖くなり、私が子供の頃の入学式は桜が満開だったものです。しかし、近年の桜の開花は早いらしく、今春の「桜前線」は平年値よりも5～10日ほど北上が早まっているらしいとのことです。入学シーズンに桜の花がないのは少しさみしい気もしますが、花より団子とはよくいったもの、桜餅は季節に関係なく大好きです。